

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	頸椎椎弓形成術後急性期リハビリテーション治療における漢方薬の影響
種別	☐ 特定臨床研究 ☒ 特定臨床研究以外
申請区分	☒ 新規申請 ☐ 変更申請
当院の研究責任者(所属)	茂手木 博之(脊椎脊髄外科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	なし
研究の目的	頸椎症性脊髄症、頸椎後縦靱帯骨化症に対する椎弓形成術施行例において、術後NSAIDs常用内服に代わり、漢方薬を常用内服することの急性期リハビリテーション治療に与える影響について調査すること。
対象となる調査期間	2022年8月1日～2024年7月31日
対象となる患者様	上記期間に頸椎症性脊髄症、頸椎後縦靱帯骨化症に対して当院で頸椎椎弓形成術を施行した患者様。
使用する情報、試料等([○]の項目を利用します)	[] 血液、[] 唾液、[] 毛髪、[] 病理組織、[] 排泄物(尿・便)、 [○] 診療記録、[] 臨床検査データ、 [] その他(空白に記載)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報削除した上で、第62回日本リハビリテーション医学会学術集会にて発表のうえ論文投稿
研究期間	2022年8月1日～2025年6月14日
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2025年4月22日

入力者 茂手木 博之

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい。
HP掲載を終了します。